

千代田区立中等教育学校に関する検討委員会（第4回）議事要旨

1 日 時 平成15年3月10日（月）午後3時から午後5時まで

2 場 所 東京都庁第二本庁舎31階特別会議室23

3 意見交換における発言概要等

- ・ 新しい学校づくりに同窓会・PTAの理解は不可欠と認識している。区立中等教育学校をよりよい学校にしていくために、両校の同窓会・PTAには協力していただきたい。
- ・ 検討委員会報告においては、10月22日に決定された「九段高校移譲のための条件」の中で内容が抽象的な部分や記述されていなかった部分を明確にしている。今後、区の関係者や議会等に対して報告書の内容で説明をしていく必要がある。
- ・ 優秀な生徒が区立中等教育学校を選んで入学する環境を整えていくことが必要である。
- ・ 九段高校と中等教育学校が同時に存在する18～20年度においては、両校は一体となって施設を使用するが、九段高校が教育活動に支障なく安定して学校施設を使用できるよう十分配慮する。
- ・ 学校評議会（仮称）、基本計画検討委員会（仮称）と区との関係については、より明確にする必要がある。
- ・ 18年度開校時に、九段中学校生徒を編入させる理由は、前期3学年と後期3学年を空き学年なしで接続することにより学校間接続を強化し、九段高校の伝統をよりよく引き継ぐためであり、その表現について報告書の中で整理する。